BANDO

Breakthroughs for the future

第90期 株主通信

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

バンドー化学株式会社

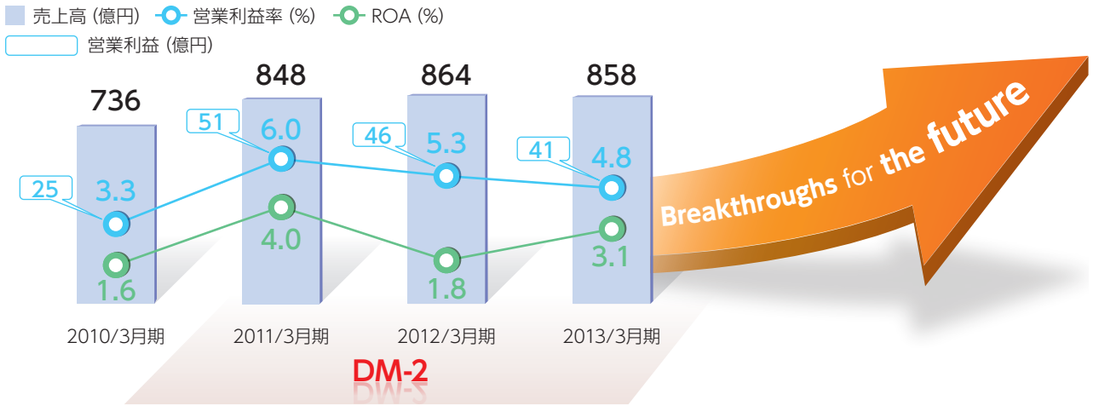
「10年後のありたい姿」を目指して 中長期経営計画 “Breakthroughs for the future”を策定

代表取締役社長
吉井満隆

代表取締役社長 就任について

2013年4月1日付で、バンドー化学株式会社代表取締役社長に就任いたしました吉井満隆でございます。先頭に立って、当社グループの躍進に全力を尽くす所存でございますので、今後ともより一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申しあげます。

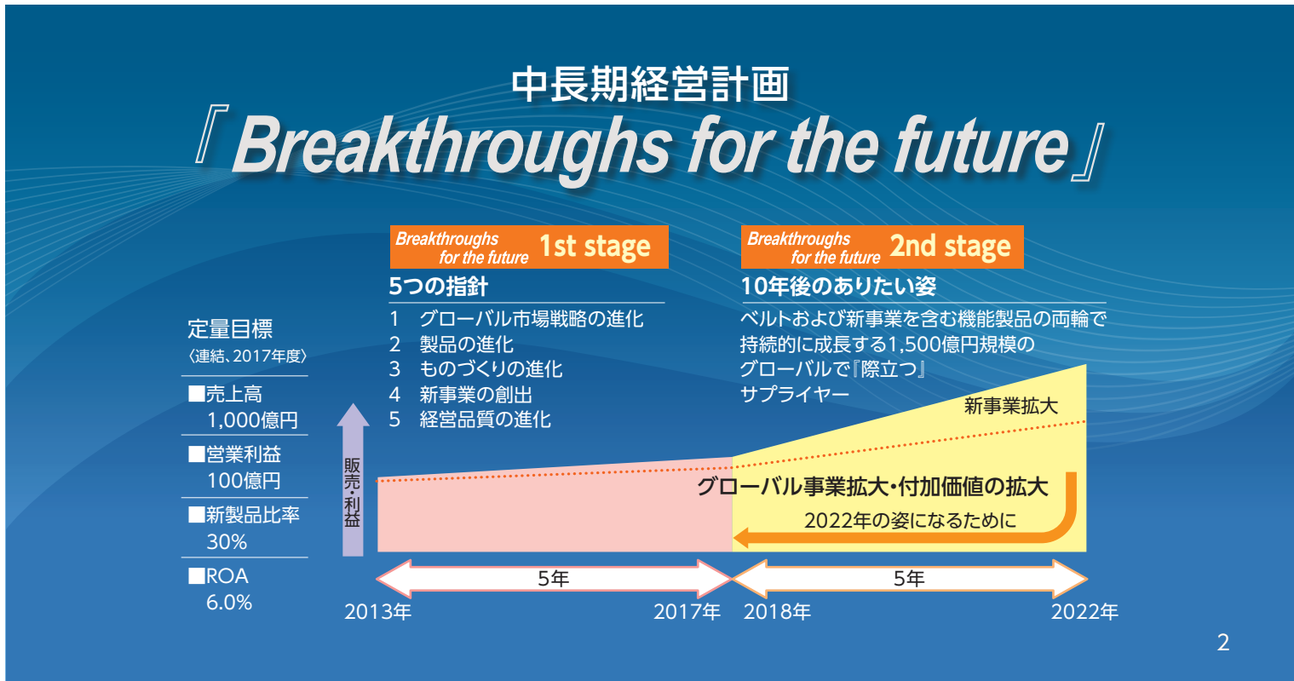
業績推移



Q 中長期経営計画 “Breakthroughs for the future”のコンセプトについて、教えてください。

A まず、中長期経営計画“Breakthroughs for the future”の「Breakthrough」という言葉は「突破」、「躍進」という意味ですが、この「Breakthroughs」の「s」には、当社グループの全員がそれぞれの課題に挑戦し、それらを突破する。これにより、現状を打破し、中長期の目標に向かって思い切って躍進していきたいという意志を込めています。

当社グループが10年後のありたい姿として目指すのは、創業以来培ってきたゴム・エラストマーや樹脂に関する「コア技術」と「信頼の品質」に磨きをかけ、ベルトや機能製品分野において、グローバルで「際立つ」サプライヤーとなることです。中長期経営計画の前半の5年を「Breakthroughs for the future 1st stage(BF-1)」として、グローバルでの事業拡大や新製品開発、ものづくりに関わる課題など、5つの指針を掲げ、目標達成に向けて、取り組んでまいります。



Q 指針「グローバル市場戦略の進化」について、具体的な取り組みをお聞かせください。

A 海外市場においては、アジアを重点地域として、タイ、インドネシア、インド、ベトナムなどの生産能力の増強により、中国およびアセアンを中心に更なる市場深耕を図るとともに、今後の成長が期待されるグレートメコン市場の開拓に着手することにより、ベルト事業分野において、アジア市場シェアNo.1を目指してまいります。

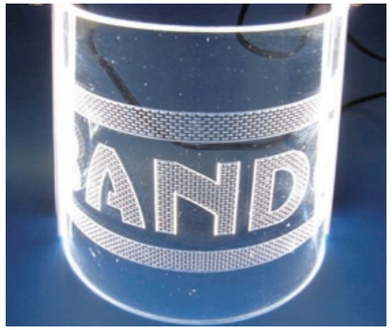
また、国内市場においては、ベルトをはじめとするコア製品の更なる「高機能化」と周辺部品を組み合せた「モジュール提案」により、市場ニーズにマッチした製品を提供するとともに、お客様に密着したエリア区分別のきめ細かい在庫・物流・加工体制によるバリューチェーンを構築し、付加価値を向上させてまいります。また、高機能製品を核として周辺事業領域の拡大を目指してまいります。

インド バンガロール新工場

Q 指針「新事業の創出」について、具体的な取り組みをお聞かせください。

A オプトエレクトロニクス、自動車／交通、エネルギー、ロボットを重点市場と捉え、それらの重点市場に向けて、「環境・省エネ・高機能」をキーワードとした新製品、新事業の創出に取り組んでまいります。

具体的には、ナノ粒子創生技術を活かしたプリンテッドエレクトロニクス分野での新製品やポリウレタンの配合技術を用いた表示、照明関連での新製品など、当社グループの「コア技術」であるゴム・エラストマー・樹脂の配合・分散・複合化技術に新たな技術を融合させた「とがった技術」をベースとした新製品の創出と新市場開拓を進めることにより、次代の新事業の柱としての育成を目指してまいります。


バンコランフレキシブル導光シート

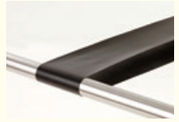
TOPICS

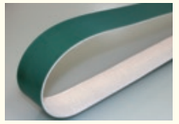
2012 3月

- ロングシンクロベルトS8Mタイプ「高電気抵抗仕様」を発売

←ロングシンクロベルトS8Mタイプ「高電気抵抗仕様」

- PSベルト「耳ホツレ防止仕様」「特殊搬送用特厚仕様」を発売


↑PSベルト「耳ホツレ防止仕様」


↑PSベルト「特殊搬送用特厚仕様」

4月

5月

6月

7月

8月

- 「CSR報告書2012」を発行

- 中国・上海市でBando(Shanghai) Industrial Belt Co., Ltd.　事業開始
  → 中国の食品、FA業界等、各種工場用搬送設備向サンラインベルトの拡販を主目的とした搬送用ベルトのエンドレス加工や付帯加工

↑ 食品市場や物流市場で幅広く使用されるサンラインベルト

9月

- 大型産業機械の駆動用ベルト「リブエース2 -PL形」投入により、シリーズ化

「リブエース2」PJ形、PK形、PL形 →

10月

- バンドーグランメッセ「超高速インクジェットプリンター対応メディア」を開発
- バンドーグランメッセ「不燃仕様」を開発

← バンドーグランメッセ「不燃仕様」

11月

12月

- 中国・上海市で管理性公司Bando (Shanghai) Management Co., Ltd.　事業開始
  → 中国における製品販売および営業統括、管理業務の統括・支援による事業運営の効率化

2013 1月

- 南海工場に「太陽光発電システム」を導入
- タイのBando Manufacturing (Thailand) Ltd. にアジア技術センターを開設

2月

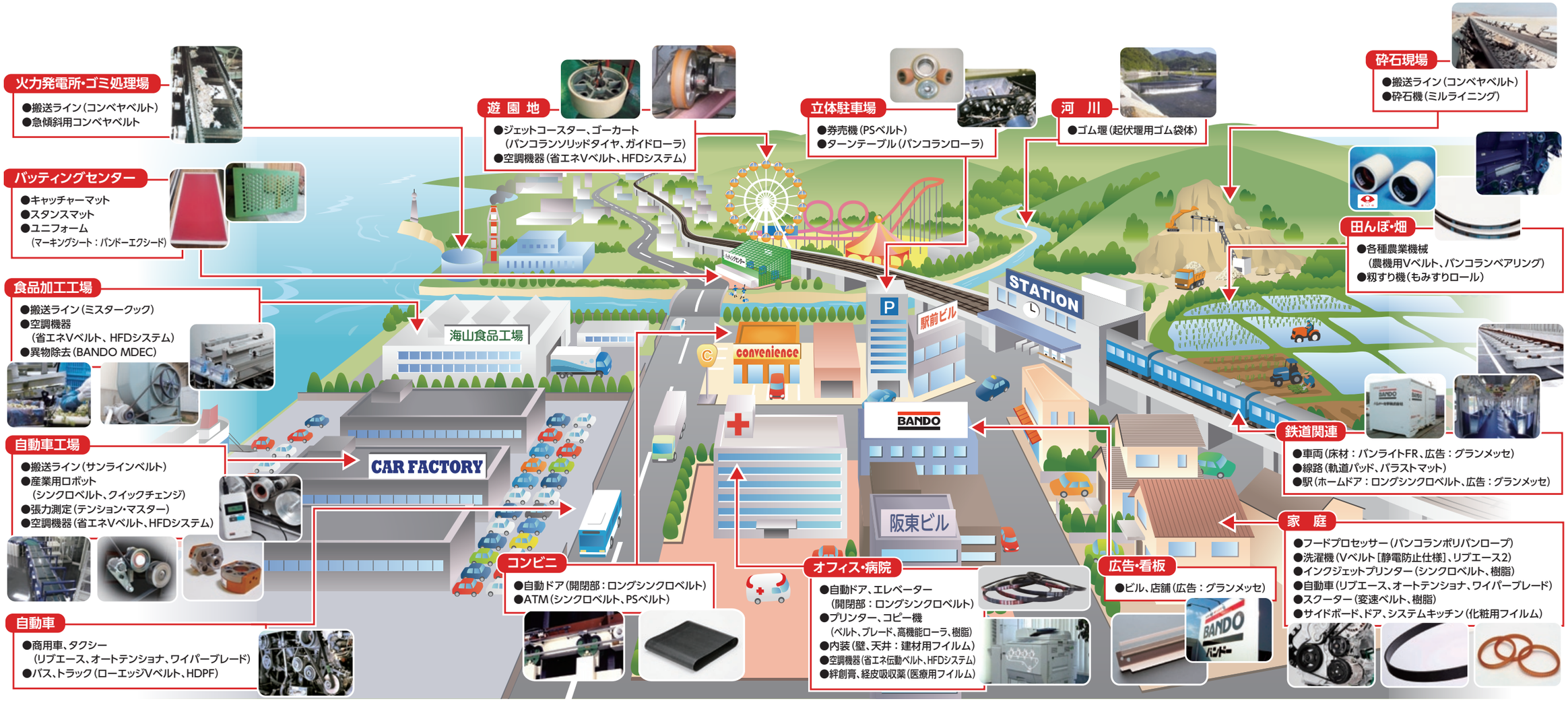
- 加速度センサーを用いた張力計「TENSION MASTER(テンション・マスター)」を販売開始

「TENSION MASTER (テンション・マスター)」→

3月

- 西兵庫開発株式会社(ゴルフ事業)の全株式を株式会社アイランドゴルフに譲渡

バンドー化学の製品は暮らしの中のさまざまなシーンで活躍しています。



事業別の概況

伝動事業

売上高 **55,029**百万円　前年度比 **2.7**%増

セグメント利益 **3,460**百万円　前年度比 **17.9**%減

概況のポイント

◎ 自動車用は、アジアにおける需要の増加によりオートテンショナや一方向クラッチ内蔵プーリ（バンドー・スムース・カップラー）などの伝動システム製品が好調。

◎ 一般産業用は、国内および北米は減少したものの、アジアでは市場の成長に合わせた拡販活動により伸長。

◎ お客様のメンテナンス活動をサポートする張力計「TENSION MASTER（テンション・マスター）」を販売。

マルチメディアパーツ事業

売上高 **7,855**百万円　前年度比 **12.9**%減

セグメント利益 **△179**百万円　前年度は△518百万円

概況のポイント

◎ 新製品を市場に投入するも欧州経済の停滞等の影響を受けプリンター等の電子写真出力機器の市場縮小によるブレードや精密ベルト等の販売が減少。

◎ 事業改革の一環として、足利工場の固定資産につき減損処理を実施。

化成品事業

売上高 **4,524**百万円　前年度比 **8.1**%減

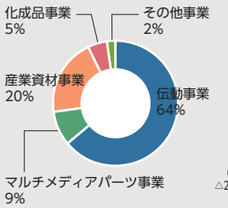
セグメント利益 **15**百万円　前年度比 **87.1**%減

概況のポイント

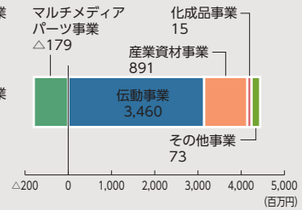
◎ 円高による顧客の海外販売の減少等により医療フイルムや工業用フイルムの販売減。

◎ インクジェットプリント用メディア「バンドーグランメッセ」シリーズのラインアップを拡充。

当年度の事業別売上高構成比



当年度のセグメント利益



産業資材事業

売上高 **17,252**百万円　前年度比 **2.3**%減

セグメント利益 **891**百万円　前年度比 **85.3**%増

概況のポイント

◎ 火力発電所向け急傾斜用コンベヤベルト等の運搬ベルトの販売が伸長。

◎ コンベヤベルトの採算改善に向けた取り組みを実施。

その他事業

売上高 **1,493**百万円　前年度比 **16.8**%減

セグメント利益 **73**百万円　前年度比 **28.1**%減

概況のポイント

◎ ロボット関連デバイス事業においては、マテリアルハンドリング等に使用されるBLクイックチェンジのラインアップを拡充。

◎ 金属ナノ粒子のナノ粒子創生技術を活かした新製品開発を推進。

財務ハイライト

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

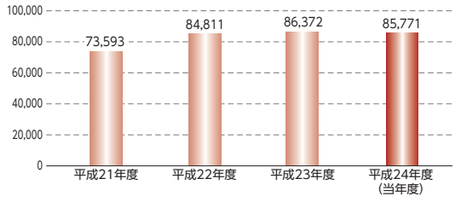
科目		当連結会計年度（H25.3.31）	前連結会計年度（H24.3.31）
資産の部	流動資産	41,872	40,521
	固定資産	40,334	39,137
	有形固定資産	28,433	28,385
	無形固定資産	1,111	1,270
	投資その他の資産	10,788	9,481
資産合計		82,207	79,659
負債の部	流動負債	26,145	26,704
	固定負債	12,836	13,511
負債合計		38,981	40,215
純資産の部	株主資本	45,750	44,498
	その他の包括利益累計額	△2,975	△5,939
	少数株主持分	450	884
純資産合計		43,225	39,443
負債純資産合計		82,207	79,659

連結損益計算書（要旨）

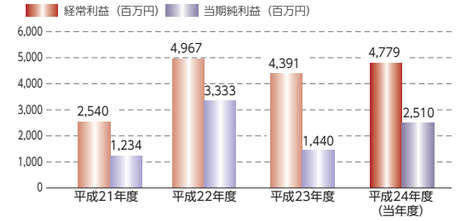
（単位：百万円）

科目	当連結会計年度（H24.4.1から H25.3.31まで）	前連結会計年度（H23.4.1から H24.3.31まで）
売上高	85,771	86,372
営業利益	4,094	4,570
経常利益	4,779	4,391
税金等調整前当期純利益	3,540	2,769
当期純利益	2,510	1,440

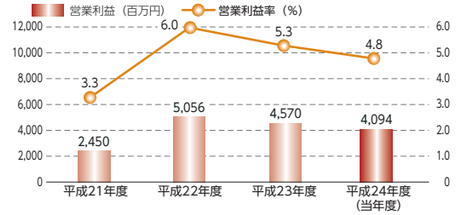
売上高（百万円）



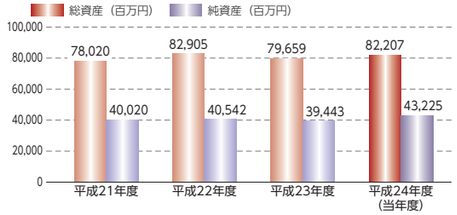
経常利益／当期純利益



営業利益／営業利益率



総資産／純資産



株式の状況

発行可能株式総数	378,500,000株
発行済株式の総数	94,427,073株 （自己株式260,622株を含む。）
株主数	11,167名

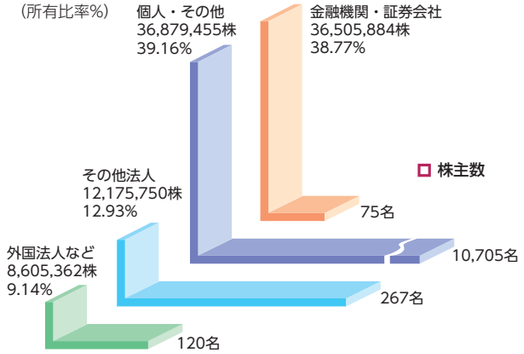
大株主

大株主名	当社への出資の状況	
	持株数	出資比率
バンドー共栄会	6,905 千株	7.33 %
株式会社三井住友銀行	4,651	4.93
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,004	4.25
明治安田生命保険相互会社	4,000	4.24
株式会社みずほコーポレート銀行	3,600	3.82
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,150	3.34
日本生命保険相互会社	2,936	3.11
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	2,351	2.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	2,112	2.24
東京海上日動火災保険株式会社	1,839	1.95

（注）1. 出資比率は、自己株式数（260,622株）を控除して算出しております。
2. 上記の出資比率につきましては、小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。

株主構成

所有株式数
（所有比率%）



会社概要

社名	バンドー化学株式会社 Bando Chemical Industries, Ltd.
創業	1906年（明治39年）4月14日
設立	1937年（昭和12年）1月7日
本社事業所	神戸市中央区港島南町4丁目6番6号 TEL（078）304-2923
ホームページアドレス	http://www.bando.co.jp

事業所

本店（本社事業所）・R&Dセンター（神戸市）
東京支店、名古屋支店
足利工場、和歌山工場・伝動技術研究所
南海工場（大阪府泉南市）、加古川工場

役員（平成25年6月25日現在）

取締役および監査役

取締役会長	小椋昭夫
取締役副会長	谷和義
代表取締役社長	吉井満隆（社長執行役員）
取締役	大原正夫（常務執行役員）
取締役	柏田真司（執行役員）
取締役	加登豊
常勤監査役	紀伊博
常勤監査役	宮本伸一郎
監査役	小川惠三
監査役	多田徹

執行役員

常務執行役員	岩井啓次
常務執行役員	玉垣嘉久
常務執行役員	北林雅之
常務執行役員	鮫嶋壽
執行役員	大嶋義孝
執行役員	中村恭祐
執行役員	Joseph David Laudadio
執行役員	畑克彦
執行役員	山口勝也

※取締役 加登 豊氏は社外取締役であります。
※常勤監査役 紀伊 博氏、監査役 小川 惠三氏、監査役 多田 徹氏は社外監査役であります。

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

当社の単元株式数は1,000株となっていますので、皆様がご所有の当社単元未満株式（1,000株未満の株式）につきましては、証券市場での売買ができない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。
当社では、このようなご不便を解消するために、単元未満株式の「買取り」または「買増し」を当社に請求できる制度を実施していますので、下記のとおりご案内申しあげます。

記

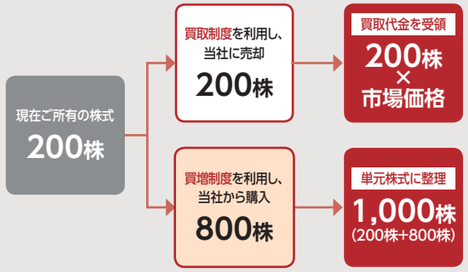
1. 単元未満株式の買取・買増制度の概要

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取るよう請求できる制度です。
（例）当社株式を200株ご所有の場合、その200株を市場価格で当社に売却し、代金を受領する。

買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。
（例）当社株式を200株ご所有の場合、800株を市場価格で当社から購入し、1,000株にする。



2. お手続きの方法

単元未満株式が記録されている口座によってお手続きの窓口が異なりますので、ご留意ください。

◎ 証券会社の口座に記録されている単元未満株式
お取引口座のある証券会社（口座管理機関）にお問い合わせください。

◎ 特別口座に記録されている単元未満株式
三菱UFJ信託銀行(株)（特別口座の口座管理機関）にお問い合わせください。

※ 特別口座とは、株券電子化実施日において「(株)証券保管振替機構（ほふり）」をご利用でない株主様（例：株券をご自宅や貸金庫に保管されている方）の権利を確保するために、当社が当該株主様の名義で開設した口座です。

3. 手数料

単元未満株式が記録されている口座	当社に対する手数料	口座管理機関に対する手数料
証券会社の口座	無料	お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
特別口座		無料

4. ご注意事項

（1）買取価格および買増価格は、当該請求が当社の株主名簿管理人の事務取扱場所に到達した日の東京証券取引所における当社株式の最終価格に当該請求株式数を乗じた額となります。
（2）買取請求および買増請求をされた後の取り消しはできません。
（3）決算期の基準日直前など、請求の受付を停止する期間があります。
（4）買増制度を利用し単元株式に整理されても、特別口座のままでは市場での売却はできません。証券会社の口座にお振替えいただくことが必要となります。

このご案内は、単元未満株式の買取請求または買増請求を強制するものではありません。
請求に際しましては、株主様ご自身でご判断くださいますようお願い申しあげます。
なお、本状と行き違いにご請求済みの場合は、ご容赦くださいますようお願い申しあげます。

株主メモ

事業年度	毎年４月１日から翌年３月31日まで
定時株主総会	毎年６月
期末配当金受領株主確定日	毎年３月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年９月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502　大阪市中央区伏見町３丁目６番３号 TEL（通話料無料）　0120-094-777
公告掲載新聞	日本経済新聞・神戸新聞
上場取引所	東京（第１部）・大阪（第１部）

〈ご注意〉

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
4. 大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所になります。

BANDO

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022337
www.fsc.org
VEGETABLE OIL INK
UD FONT
バンドーグループは
環境にやさしい事業を
推進していきます
eco moving